

次世代エネルギーパーク計画書

1. 計画名称	福山市次世代エネルギーパーク計画
2. 所在地	福山市箕沖町ほか周辺地域
3. 計画策定主体	福山市 経済環境局環境部環境総務課
4. 実施運営主体	福山市 経済環境局環境部環境啓発課
5. 計画概要	
<p>(1) 計画のコンセプト</p> <p>本市は、年間を通じて降雨が少なく日射量に恵まれており、太陽光発電の設置に適した地域である。</p> <p>本市箕沖地区は、中国地方初となる3メガワット級のメガソーラーが2011年(平成23年)12月に稼働しているほか、市及び民間施設に太陽光発電設備が多く設置されている。また、RDF(バイオマス)発電をおこなっている福山リサイクル発電株式会社や株式会社エフピコ及びJFEプラリソース株式会社などの環境関連産業が集積しており、福山市リサイクルプラザは環境学習の拠点となっている。このようなことから、当箕沖地区を中心とした地域を次世代エネルギーパークとし、これらの施設を見て触れることで、地球環境と調和した次世代エネルギーの在り方について、地域住民の理解の増進を図るものである。</p>	
<p>(2) 計画の全体像</p> <p>福山市次世代エネルギーパークの中心となる箕沖地区(箕島町を含む)は、特に太陽光発電が多く設置されている地区で、福山太陽光発電所(3,000kW)、神原汽船株式会社(400kW)、箕島浄水場(180kW)、福山市汚泥再生処理センター(100kW)、福山市リサイクルプラザ及びリサイクル工場(50kW)、福山市ごみ固形燃料工場(12kW)などがある。</p> <p>また、RDF(バイオマス)発電を行う福山リサイクル発電所(約20,000kW)が立地しており、これらに株式会社エフピコ及びJFEプラリソース株式会社等の環境関連産業も加えた施設を見学する環境関連施設バス見学を実施している。</p> <p>さらには、現在再生可能エネルギーや電気自動車等を活用したエネルギーの自給自足をめざしたコミュニティ構築の取り組みの検討が進められる常石地区も含んでいる。</p>	

(3) 関連施設

1. 中心となる施設

・福山市リサイクルプラザ(リサイクル工場)

①所有者及び管理者…福山市

設置時期……………2000年(平成12年)8月及び2010年(平成22年)3月

場所……………福山市箕沖町107番地2

再生可能エネルギー等の内容…太陽光発電

規模……………20kW+30kW

実績等……………63,450kW(推定年間発電量)

利用先……………当施設内

②見学等に係る取り組み、体制

当施設は本市の環境学習の拠点であり、啓発事業を所掌する環境啓発課がある。市民を対象とした箕沖地区での環境関連施設の見学や、各種啓発事業などを行っている。2012年度(平成24年度)からは、これまでの取り組みをより発展させた、福山太陽光発電所を含む箕沖地区の環境関連施設バス見学を実施している。

③その他

福山市リサイクルプラザは、不用家具の展示・販売、リサイクル体験講座の実施などを通じ、環境問題やごみの減量とリサイクルの推進に向けた啓発の拠点施設である。

2. 既設施設

<施設の名称>

・福山市ごみ固形燃料工場

①所有者及び管理者…福山市

設置時期……………2011年(平成23年)3月

場所……………福山市箕沖町107番地7

②RDF(バイオマス燃料)製造施設

処理能力:300t/16h (75t/16h × 4系列)

再生可能エネルギー等の内容…太陽光発電

規模……………12kW

実績等……………15,228kW(推定年間発電量)

利用先……………当施設内

③見学等に係る取り組み、体制

当施設は、福山市リサイクルプラザ(環境啓発課)が実施する環境関連施設バス見学のコースになっている。

④その他

2004年(平成16年)4月1日から本格稼働したごみ固形燃料(RDF)工場は可燃性ごみを「固形燃料化方式」で処理している。ダイオキシン類の削減, 未利用エネルギーの有効利用等, 循環型社会へ対応した工場を見学することができる。

・福山リサイクル発電所

①所有者及び管理者…福山リサイクル発電株式会社

設置時期……………2004年(平成16年)4月1日

場所……………福山市箕沖町107番地8

②再生可能エネルギー等の内容…RDF(バイオマス)発電

規模……………約20,000kW

実績等……………約107,275千kWh

利用先……………福山市ごみ固形燃料工場 ほか

③見学等に係る取り組み、体制

当施設は, 福山市リサイクルプラザ(環境啓発課)が実施する環境関連施設バス見学のコースになっている。

④その他

広島県, 福山市, 民間企業などの出資による事業会社です。参画市町村から集められたRDF(バイオマス)をガス化, 燃焼, 熔融して, 高効率発電を実現すると同時に, 再資源可能なスラグ, メタルを生成します。高温ガス化熔融炉は『資源循環型社会』の実現をめざしており, その施設を見学できる。

・福山太陽光発電所

①所有者・管理者…中国電力株式会社

設置時期……………2011年(平成23年)12月

場所……………福山市箕沖町108番1 ほか

②再生可能エネルギー等の内容…太陽光発電

規模……………3,000kW

実績等……………453.5万kWh

利用先……………市内の住宅等

③見学等に係る取り組み、体制

当施設には, 発電所全体が見渡せる見学用展望台と駐車場を整備しており, 市が実施する環境関連施設バス見学のコースになっている。

・福山市上下水道局箕島浄水場

①所有者・管理者…福山市上下水道局

設置時期……2012年(平成24年)2月

場所……福山市箕島町10番地310

②再生可能エネルギー等の内容…太陽光発電

規模……180kW

利用先……当施設内

③見学等に係る取り組み、体制

検討中。

・福山市汚泥再生処理センター「Hitz 箕沖 Aqua」

①所有者・管理者…福山市

設置時期……2013年(平成25年)4月

場所……福山市箕沖町107番地2

②再生可能エネルギー等の内容…太陽光発電

規模……100kW

利用先……当施設内

③見学等に係る取り組み、体制

当施設は、福山市リサイクルプラザ(環境啓発課)が実施する環境関連施設バス見学のコースになっている。

(参考)近隣の再生可能エネルギー関連施設

・神原汽船株式会社福山物流センター

当社は、常石地区に本社を置く企業で、箕沖地区の福山物流センター社屋に400kWの太陽光発電設備(2010年度(平成22年度)設置)がある。

・JFE環境株式会社

当社は、横浜市に本社を置く企業で、箕沖地区の西日本本部社屋に10kWの太陽光発電設備(2014年度(平成26年度)設置)がある。

・常石地区

当常石地区は箕沖地区の西方、福山市沼隈町に位置しており、現在、地域中核企業を中心に、再生可能エネルギー(太陽光エネルギー等)や電気自動車等を活用したエネルギーの自給自足を目指したコミュニティ構築の取り組みの検討が進められている。こうした環境・エネルギー技術や

システムをテーマとした見学施設及び体験可能なエリアづくり等を通じて集客ビジネスの推進を図っていく。

本エネルギーパークには、こうした取り組みにより整備される予定の施設も対象として組み込んでいく。

6. 全体スケジュール

- 2011年度(平成23年度) 啓発ブース設置, 福山太陽光発電所運転開始, 箕島浄水場太陽光発電設備設置
- 2012年度(平成24年度) 次世代エネルギーパーク関連施設も対象とした環境関連施設バス見学事業を開始
- 2013年度(平成25年度) 福山市汚泥再生処理センター稼働開始
- 2013年度(平成25年度) 福山市次世代エネルギーパーク基本計画策定
- 2014年度(平成26年度) 福山市次世代エネルギーパーク推進協議会発足

7. 運営費

運営費: 市負担

費用負担: 啓発ブース作成は市負担

来場者見込: 年間1千人

8. 関連する新エネルギービジョン等

本市では、第四次福山市総合計画において地球温暖化対策、新エネルギーの導入及び環境学習・環境教育を推進することとしており、この計画の環境分野の個別計画である。福山市環境基本条例に基づき策定した福山市環境基本計画さらには福山市環境基本計画の温暖化対策分野の個別計画である福山市地球温暖化対策実行計画(区域施策編)においてもこれらの施策を推進している。また、福山市次世代エネルギーパーク基本計画を策定し関連の取り組みを進めている。